

【件名】

中野区学校部活動の地域連携・地域移行に向けた今後の方針

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

1 方針策定の目的

中野区の学校部活動に関する課題の解決を図り、中野区の実態に合った地域連携・地域移行を実現するため、令和4年度から令和7年度における取組の展望を明らかにし、中野区立中学校の部活動の地域連携・地域移行を推進することを目的として策定する。

2 現状と課題、今後の方針等について（別紙参照）

現在、地域にサッカーや野球等のクラブチームが多数存在し、多くの中学生が所属している。こうした活動の影響で学校部活動において団体競技でチーム編成ができず単独で試合に参加できないことが増えている。また、専門的な指導ができる教員がいないため、部を存続・設置できないなどの部活動の停滞が起きている学校が散見される。そのため、中学生が望む部活動が学区の学校にない状況がある。今後、中学生が希望するスポーツや文化芸術活動を行う機会を整えること、中学生が専門的な技術指導が受けられる体制を整えることが課題となる。

また、教員が教材研究や生活指導の時間を確保し、教育の質の向上へとつなげていくためには、部活動指導や運営に関わる負担を軽減する必要がある。さらに今日において、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。そうした課題に対応しながら、部活動を従前と同様の運営体制で行っていくことは難しくなっており、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた改革に取り組む必要がある。

3 今後の検討課題

（1）学校部活動

①外部指導員や部活動指導員の配置

国や他自治体の動向や必要経費、人材確保の在り方等を踏まえた上で、生徒や保護者、教員の意向を確認して配置する部を検討する。

②休日の合同部活動の拡充の検討

現在、顧問教員が指導する部活動において複数の学校の中学生在が合同でチームを編成して練習や試合等を行っている。今後、部活動指導員が指導する部活も含めることについて検討する。

（2）行政主導地域クラブ活動について

①新設するクラブの種類

生徒の意向を確認して新設するクラブを検討する。

②運営方針や活動内容等の改善

生徒の意見を反映して全体の運営方針や活動内容、場所の拡充等を改善して参加生徒数の拡大や満足度の向上を目指す。

(3) 部活動の地域移行・地域連携に向けた調整機能の強化

学校や教育委員会と連携して指導員の配置や活動機会の提供等を行う（仮称）クラブコミュニケーターの業務内容や必要人数等を検討する。民間事業者等の活用を含めた人材確保の在り方については国や他自治体の動向や必要経費等を踏まえて検討する。